

【全例同じリスク管理ではダメ！】 ベッド上エルゴメーターによる循環応答



積極的に離床できない状況でも「何とかしてあげたい！」という思いから、ベッド上から活動を促す取り組みが増えています。

でも、このような方は、全身状態が不安定であることが多く、特に循環のリスクを知っておく必要があります。

この研究では、健常者を対象に他動的にベッド上エルゴメーターをこいでもらい、循環系パラメーターの変化をみました。

その結果、平均血圧は全例上昇したのに対して、心拍数と脳血流の増減については個人差が大きく、一定の傾向がないという結果でした。

患者さんに実施する場合にも同じような反応が予測されるため、一人ひとりのアセスメントをしっかりすることが、大切だと改めて感じました。

下記原典では、負荷レベルによる各パラメーターの変化をみることができ、とても参考になります。

是非、ご覧ください。

Jennifer Chen et al. Impact of Graded Passive Cycling on Hemodynamics, Brain, and Heart Perfusion in Healthy Adults. Front Med (Lausanne). 2019 20;6:186.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC6736571/>

この情報が皆さんの診療に役立つことを願っております。

写真提供：インターリハ株式会社